

[調査会 NEWS 723](20.11.27)

■古川了子さん、加藤久美子さんに関する対応について

荒木和博

昨日救う会のニュースでも流れていますのでご存知の方も多いと思いますが、救う会と調査会ではお二人の対応について下記のように整理しました。実質的には今までと変わらないのですが、書かれているように古川さんと加藤久美子さんだけが最初の手続きでの対応となったため宙に浮いた形となり、経過が分からない人からすると「なぜこの2人だけが救う会認定なのか」ということになるためです。

いずれにしても拉致されている人は皆救わなければならないわけで、その点は救う会全国協議会も、各地の救う会も、調査会を含むしおかぜネットワークに参加する各組織も皆同じです。認定の問題はもちろん特定失踪者のご家族にすれば重大な問題であり、調査会の1000番台リストもそれに準ずる意味合いを持ってしまっていますが、あくまでそれが日本国内の問題でしかないということをご理解下さい。大事なのは取り返すことです。

ところで私は昨日北朝鮮の開城に行ってきました。ソウルから休戦ラインを越えて行く日帰りツアーで、北朝鮮側が突然今月末で中止にすると言ってきたものです。幸い11月中の予約だったので間に合いましたが、初めて北朝鮮の土を踏んだときは感無量でした。北側のガイドたちとも国際関係や竹島、核問題から拉致問題まで結構議論をしました（さすがに「私は拉致被害者の救出に自衛隊を使うべきだと主張している。また、対北放送やビラの散布をやっている」とは言いませんでしたが）。

やはりこれからはこちらで待っているだけではなく、どんどん手を突っ込んで直接間接に探して行くことが必要ではないかと思います。もちろん、そのためにはあの体制を変えていく覚悟と現実的な作業も必要でしょう。古川さんや加藤さんも、認定されようがされまいが、北朝鮮から連れ帰ってしまえばそれまでのことです。目標をしっかりと見極めていき

ましよう。

「救う会認定」と調査会の「1000 番台リスト」の関係について

・救う会西岡会長代行と調査会荒木代表は、いわゆる「救う会認定」と調査会の「1000 番台リスト」の関係について整理した上で、次の点を確認した。

・調査会設立当時、調査会が調査活動を行い、拉致の可能性が高い失踪者を救う会が救出運動の対象とするという手続きをとった。そのため、特定失踪者の中で古川了子さん、加藤久美子さんについては、いわゆる「救う会認定」となっている。しかしその後調査が進む中でこの手続きを続けられなくなり、調査会が独自で「1000 番台リスト」として拉致された可能性の高い失踪者の発表を行っているため、2人だけがいわゆる「救う会認定」と調査会の「1000 番台リスト」の両方に入っている特別な形となっている。

・政府認定、いわゆる「救う会認定」、調査会「1000 番台リスト」等はあくまで日本側のことであり、本当の問題は北朝鮮が拉致しているか否かにある。政府も国会も、私たち救出運動に携わる者も、報道関係者も国民も、その事実を忘れてはならない。あくまで救出運動の目的は、私たちが現在名前も知らない人も含め、すべての拉致被害者を救出することにある。

1. 現時点で、特定失踪者リストからいわゆる「救う会認定」を追加して行うことはせず、古川さん・加藤さんについて「救う会認定」を変更しない。

2. 古川さん・加藤さんに関する対応についてはご家族との接触等の経緯から、これまで通り特定失踪者問題調査会及び地元の救う会が主な支援を担当する。救う会全国協議会はお二人も含め、すべての拉致被害者救出のために一層運動を強めていく。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187 又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日（日）13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

★平成21年1月18日（日）14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（救う会徳島主催）

●阿南市文化会館夢ホール（阿南市富岡町西池田135-1）

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995（救う会徳島事務局）

ントのみ)

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」
(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187 又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日(日) 13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・
シンポジウム(拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催)

●鳥取県民ふれあい会館(鳥取駅から徒歩3分)

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645(伊吹さん)

★平成21年1月18日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考える
県民集会(救う会徳島主催)

●阿南市文化会館夢ホール(阿南市富岡町西池田135-1)

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995(救う会徳島事務局)

MM
MM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博(送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

失踪状況

失踪以前に「誰かに見られているような気がする」と言っていた。県営住宅が抽選であたったが、「移るのが怖い」といい始め、その後一週間後に失踪。

失踪直前、ゴルフ練習場の女性従業員に子供を預けて、バレンタインデーのチョコレートを買うために、近くのスーパーに車で行った。その後、音信が普通となった。

失踪の翌日の昼過ぎに「御神崎灯台で車が見つかった」という連絡があった。車の鍵は開いていて、キーは車に挿しっぱなしだった。本人の帽子、バック、子供のミルク缶が車に残されていた。免許証とバレンタインデーのチョコレートは車中に残っていなかった。

北朝鮮からの脱北者から「北朝鮮で目撃した女性に似ている」との情報がある。

加藤 小百合（かとう さゆり）さん

生年月日：昭和 39 年 6 月 5 日

失踪年月日：平成 9 年 8 月 18 日

当時の年齢：33 歳

失踪場所：神戸市内から失踪

当時の身分：主婦

失踪状況

自宅をいつもと同じように軽装で出たまま行方不明。

その後、ある男性が突然家族のもとに現れ、「8 月 18 日から、1 週間ほど自分の家にいた。小百合さんは元気です」と家族に伝えるものの、その経歴などは偽であり、架空の話ということが判明する。

「北朝鮮にいる」との情報がある。

■しおかぜプロジェクトについての報告

調査会の財政悪化に伴う短波放送の放送時間短縮等、しおかぜプロジェクトの縮小問題につき、関係各方面のご協力で現在状況は改善されつつあります。まだ予断は許せませんが、当面の活動継続にはめどがたちました。関係各位に心より御礼を申し上げるとともに、活動が安定して行われるよう、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

<短波放送「しおかぜ」>「J S Rしおかぜ」新周波数へ妨害電波

11月6日付けで総務省は、「J S Rしおかぜ」と同一周波数への妨害電波が北朝鮮から発射された物と確認し、国際電気通信連合（ITU）の定める無線通信規則に違反していると認められることから、ITUを通じて北朝鮮に対して規則違反を通報しました。

今回の妨害電波発射確認は、10月26日に新周波数へ変更後11日目となりますが、すでに一部のしおかぜリスナーからは周波数変更後2日目には妨害電波らしき不穏な雑音を捉えており、その後も断続的に妨害電波は「ON」「OFF」を繰り返している事も確認されています。その状況は北朝鮮当局が「しおかぜ」を傍受し、こちらの周波数を確認しながら妨害電波を発射している事を裏付けていると理解できます。

また、周波数変更の翌日には調査会事務所へ若い女性から周波数についての問い合わせがあり、その話し方の語尾には、かすかな朝鮮なまりがありました。正体は不明ですが、周波数変更に関連し、探りを入れてきた可能性もあると思われます。これらの反応から考えれば、「しおかぜ」の存在と猫の目作戦はますます効果を上げていると証明し判断できます。

また、今回夜の放送に割り当てられている5910kHzの周波数はWARC-92 拡張バンドであり、デジタル技術を含む新たな変調技術の進

展を考慮し追加分配された周波数帯域です。「しおかぜ」は無線局という性格から、国内法では通信という扱いとなるため、拡張バンドの周波数帯も使用可能という事が生かされています。受信する側から見れば、同じ短波帯の周波数ですからなんら変わる物ではありませんが、密集する周波数帯域での周囲との混信を避け、出来るだけ受信しやすくする効果としては非常に有効であると考えられます。総務省側も「しおかぜ」についてかなり考えた上の周波数割り当てであり、努力されている事がよく分かる選定です。関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

放送時間（11月19日現在）

夜 11：00～11：30 周波数5910kHz

朝 5：30～6：00 周波数6045kHz

なお、現在、北朝鮮近隣地域での伝搬状況を判断し、一般リスナーからの受信報告も考慮した上で、新たな周波数への移行時期を検討中です。

<バルーンプロジェクト>

さる10月17日、バルーンプロジェクトでご協力をいただいている基督北韓人連合の李ミンボク代表から以下のメールがとどきました。李代表によればこれまで日本側で作成したビラ約22万枚は今回すべて北朝鮮に飛ばし終わったとのことでした。

このビラは内容はほとんど同じですが12万枚が調査会、10万枚が家族会及び調査会の名前で作られています。また、基督北韓人連合のビラにも日本人拉致・帰国者問題などが記されています。北朝鮮が激しい抗議をしてくるのはそれだけ効果がある証拠であり、韓国政府の対応も厳しくなる可能性があります。今後も慎重かつ大胆に取り組んでいく予定です。

（李ミンボク・基督北韓人連合代表からのメール）

さる10月と11月は北朝鮮の相次ぐ抗議（22回目）でこれまでになく緊張した雰囲気となり、少し利口に対応しなければならないことを勘案し事業報告をのぼしていました。

秋に入ると北朝鮮向きの風の吹く回数が少なくなります。したがって風向きが北に向かえば明け方でも飛んでいって風船を飛ばしています。

10月中は3回、鉄原・白馬・金化・華川などで54個の大型風船を飛ばしました（うち3個は失敗）。これは標準のビラ基準で約300万枚にあたります。11月は現在16日まで4回、金化・白馬・大馬・鉄原などであわせて51個の大型風船で306万枚を飛ばしました。北朝鮮の強い抗議に対し、刺激してはならないという政府と一部の有識者の方々の自制要請を慎重に考慮して、さらに「左手がすることを右手が知らない」という原則を守っていくつもりです。

世の中の雰囲気より神の仕事を優先し、靈的に終末を迎えた国、人間偶像化の唯一の国、閉鎖された北朝鮮に自由の穴をあけるダビデの石、福音と自由の風船を飛ばします。皆様の祈りとご支援に感謝しながら。

基督北韓人連合・対北風船団長 李ミンボク

<情報収集活動>

先月来の松本京子さんに関わる情報ははじめ、活動を継続しています。ことの性質上進行中は内容を公表できませんが、今後も可能な限り情報は明らかにしてまいります。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14：00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

ントのみ)

★11月22日(土) 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い(救う会埼玉主催)

●さいたま市・埼玉会館(浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分)

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986(竹本代表代行)

★12月7日(日) 14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」
(同会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ:090(9816)2187 又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日(日) 13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・
シンポジウム(拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催)

●鳥取県民ふれあい会館(鳥取駅から徒歩3分)

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645(伊吹さん)

★平成21年1月18日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考える
県民集会(救う会徳島主催)

●阿南市文化会館夢ホール(阿南市富岡町西池田135-1)

●代表荒木が参加

●問い合わせ 090-5141-1995(救う会徳島事務局)

MM

MM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしくお願ひします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご
連絡願ひま
す)

MM
MM

[調査会 NEWS 719](20.11.18)

■北朝鮮人権侵害問題啓発週間共同開催行事

調査会を含めた北朝鮮人権関連NGO 6 団体では今年の北朝鮮人権侵害問題啓発週間 (12月10日~16日) にあたり、下記の合同イベントを行います。調査会では下記の内容以外にパネルの展示、DVD の上映、しおかぜの収録等も計画しています。多数の方々のご参加を期待しております。特に拉致以外の北朝鮮人権問題に触れたことのない方は、拉致問題の根源を知る上でもぜひご参加ください。なお、この共同集会開催のため、本年は調査会独自のイベントは行いません。

【拉致・収容所・脱北 アジアの人権】

☆ 北朝鮮全体主義国家の実状を訴える6団体共同集会 ☆

☆ アジア人権人道学会設立準備期成会 ☆

【日時】 12月14日（日）午後12時半開場 1時開会

【場所】 明治大学リバテイタワー 10階 1103教室
東京都千代田区神田駿河台1-1
JRお茶の水、地下鉄新御茶ノ水・神保町下車各5分程度

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

【参加費】 無料

■ プログラム

【午後1時～3時 映画「クロッシング」上映】

・来春3月公開予定の脱北者を描いた韓国映画『クロッシング 祈りの大地』の上映会です。

<http://www.crossing-movie.net/>（公式サイト）

【内容】 4カ年、3か国、8000キロの秘密のロケ撮影で再現した脱北の実態。果てしない大地と空の中で、冷酷な権力に翻弄される家族の絆が描かれた名作です。

★ 2008年度アカデミー賞外国語映画賞部門 韓国代表作品

★ 2008年バンクーバー国際映画祭 出品作品

★ 2008年東京国際映画祭 出品作品

.....

【3時半～6時 収容所体験者・脱北者による証言集会】

* チョン・グワンイルさん（北朝鮮政治犯収容所体験者）

チョンさんは、収容所で囚人として班長を長く努め、収容所内の、拷

問、虐待、強いられた死など、悲惨な実態をつぶさに観てきました。また、収容所内で出会った数多くの北朝鮮帰国者の悲劇的な運命について、今始めて明らかにされる多くの情報が証言されます。

* ワン・ヘソンさん（日本在住の脱北者）

約5年間を中国で過ごし、そこで様々な体験をしてきた脱北者で現在日本在住のワン・ヘソンさんが、北朝鮮を脱出した難民達が、中国で保護を受けられず、過酷な運命を辿らなければならないかを自らの経験に基づいて証言します。

* トヨタ・アキコさん（日本人妻の娘、日本入国を認められず韓国に生活）

トヨタ・アキコさんは、在日朝鮮人の父と日本人の母との間で、1971年、北朝鮮咸鏡北道に生まれました。両親は、北朝鮮帰国事業で日本から北朝鮮に渡航した人でした。しかし、母親が3年後には里帰りさせるという当初の約束を実現してほしいと要求したため、一家はピョンヤンから茂山に追放され、日本語を使えば一家の命はなくなると言われました。このためお母さんは、アキコさんに帰国年次や日本の親族の情報を教えられなかったため、彼女は日本に入国するための人定ができず、韓国に行くしか選択枝がありませんでした（日本政府は、脱北者で、帰国事業により北朝鮮に渡航した人であることが判明した場合には、その3等親までの人を庇護入国の対象としている。現在、日本に脱北者は約170名いる）。

.....

【6時半～7時半 主催6団体他による大発言会】

主催6団体及び北朝鮮の人権問題、拉致問題にとりくむ人達から、来

年こそは拉致被害者を救出し、独裁政権による人権弾圧をやめさせるため、私たちに何ができるかを、自由にそれぞれの立場から発言していただきます、当日は同じ10階の幾つかの教室にて、北朝鮮および広くアジアの人権問題についての展示、映像上映などを同時に行います。

【共催団体】

- 北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

<http://hrnk.trycomp.net/>

- 北朝鮮難民救援基金

<http://www.asahi-net.or.jp/~fe6h-ktu/>

- RENK

<http://www.bekkoame.ne.jp/ro/renk/>

- ノーフェンス

<http://nofence.netlive.ne.jp/>

- 北朝鮮による拉致・人権問題にとりくむ法律家の会

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

- さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

- 代表荒木が参加

- 問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

- 常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187 又は sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日(日) 13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・
シンポジウム (拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催)

- 鳥取県民ふれあい会館 (鳥取駅から徒歩3分)
- 常務理事岡田が参加
- 問い合わせ 0857-82-3645 (伊吹さん)

★平成21年1月18日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考
える県民集会 (

救う会徳島主催)

- 阿南市文化会館夢ホール (阿南市富岡町西池田135-1)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ 090-5141-1995 (救う会徳島事務局)

MM
MM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご
連絡願いま

す)

MM

MMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会 NEWS 718](20.11.15)

■ 11月15日

荒木和博

今日は横田めぐみさんが拉致されて31年目になる日です。また、残念ながらあまり注目はされていませんが、米子で特定失踪者（1000番台リスト）古都瑞子さんが失踪したのも同じ昭和52年の11月14日深夜ないし翌15日にかけてです。

今日はNHK総合テレビ（22:25～「日本の現場」）で市川修一さんのご家族を特集しますが、市川さんのお母さんである市川トミさんらが「しおかぜ」のメッセージ収録をしている様子も流れます。

また、「おばあちゃんの前宿」として有名な東京巣鴨の地藏通り商店街でも商店街のご協力を得て街頭活動が行われます（東京ブルーリボンの会主催・地方議員の会等共催 12:00～14:00 連絡先：090-5215-7752）。他の地域でも各地で活動が行われています。

様々な立場の人の熱意が少なくともこの11年を支えてくれたと言えるでしょう。「しおかぜ」に対しても皆様から大きな支援が届いており、心より感謝申し上げます。まだ樂觀できるところまでは行っていませんが、私たちもご期待に応えるようにさらに努力して参ります。

ところで、最近確信に近づいているのですが、政府は昭和52年11月15日、横田めぐみさんが失踪した直後からこの事件が北朝鮮による拉致だと分かっていたのではないのでしょうか。また、石高健次さんが「現代コリア」に書いた論文にもありますが、あの論文の3年くらい前に韓国の情報機関から「中学1年生の少女がバドミントンの帰りに北朝鮮工

作員によって拉致された」という情報が日本政府に寄せられていました。今公にされているのは、めぐみさんの失踪に関する書類が時間がたって処分されており、情報と合致しなかったという話なのですが、これもこのときすでに横田めぐみと特定されていたのではないかと思うのです。

根拠についてはやがてどこかに書くこともあると思いますが、拉致問題にはまだまだ大きな闇があります。それはひょっとしたら北朝鮮の闇より日本国内の闇の方が大きいのかも知れません。

蓮池さんたちが帰国して2か月経った平成14年12月中旬、新潟で5人が一同に会したときがありました。私は当時救う会の事務局長として2泊3日、ほとんどの日程に同行していました。その途中、当時家族会の事務局長だった蓮池透さんが「薫に『お前、もっと（北朝鮮でのことを）話せないのか』と聞いたら、『兄貴、俺が全部話したら耐えられるか。耐えられるなら話すよ』と答えた」と言っていました。

「耐えられるか」というのはあるいは日本国民全部に投げかけられた言葉かも知れません。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

いる」ということでした。二度現場に立ってみて、あらためてこの国は全く守られていないということを感じました。今でも工作員は簡単に日本に侵入できます。

歴代政権は（そして今のままなら民主党政権になっても）自衛隊の手足を縛り、国民から切り離し、誇りを奪いその職務を全うできないようにしておきながら、国民には「日本は安全だ」と言い続けてきたのです。私自身も予備自衛官の一人と言えますが、現状では自衛隊は日本を守れません。「専守防衛」など机上の空論に過ぎません。

政府がこのような現状を放置してきたのは一種の「安全偽装」です。だから拉致問題もふたをされ、隠し続けられてきたのです。私自身はその根っこにあるのは歴史認識だと思いますが、この問題は様々な意見があるのが当然で、別に人に押し付けるつもりはありません。もちろん、政府が空幕長に押し付けるべきだとも思いません。違うなら「私は違う」と言って反論すれば良いだけで、発言まで封じることはないはずです。

拉致問題がとっくに終わった問題で、今の日本がしっかり守られているのであれば別ですが、危機は今も目の前にあるのだということを認識しなければなりません。そして、きょう国会議員から行われた枝葉末節な質問でも分かるように、国会の中には本当の意味で安全保障問題を論じられる議員など厳密に言えば一桁しかいないのです。自民党でも民主党でも、本当に防衛の議論ができ、なおかつトップとして決断できる議員はほとんど責任ある立場には着けません。

今回の問題では様々意図的な田母神前空幕長への攻撃が行われていますが、現実には目を向けず、国民の安全をないがしろにする人々と、下のような文章を書ける人と、どちらに私たちの安全安心を託すことができるかは一目瞭然だと思います。

【予備役ブルーリボンの会発足お祝い文】

予備役ブルーリボンの会、発足おめでとうございます。

皆さんご存知のとおり、各国の軍事力・防衛力は現役兵力ばかりでなく、予備役の能力も含めて評価されます。日本においては、予備自衛官等の方々の力がそれにあたるわけで、皆さんの存在をたいへん頼もしく思っています。

さて、私は常々、自衛隊は日本の武士道の精神を受け継ぐ素晴らしい組織であると内外で主張しておりますが、謡曲などで次のような話が伝えられています。鎌倉時代に、佐野源左衛門尉常世（さのげんざえものじょうつねよ）という武士がいました。彼は貧しい生活をしていましたが、執権であった身分を隠して旅の僧として全国廻向していた北条時頼に宿を貸し、大切にしていた鉢の木を焚いて暖をとらせる等精一杯もてなし、「自分は貧しい生活をしているが『いざ鎌倉』となれば直ちに駆けつけるつもりだ。」との決意を語りました。そして、実際に「いざ鎌倉」という場面が訪れると、真っ先に駆けつけその心意気を示したのです。予備自衛官等の方々は、平素は民間でそれぞれご活躍されながら、地道に訓練も重ね、一朝有事にはいち早く駆けつけようとする心構えを持たれ、まさにこの佐野源左衛門尉常世の武士道精神を体現されているものと、心から敬意を表します。

自衛官は、事に臨んでは危険を顧みず、我が国の平和と独立を守る使命を完遂していかなければなりません。その使命感の根源は我々の身の回りの人々、顔の見える一人一人の国民を守る、という気概であると考えます。そして、それが強ければ強いほど、自衛隊は精強となります。この度予備役ブルーリボンの会に入会された方々は、北朝鮮に拉致された国民の方々及びそのご家族の悲しみ、苦労、憤りに思いを致し、救出を応援しようとする姿勢を示されたのであり、それはまさにこの気概を体現したものです。その心意気は自衛隊の精強性を内外に示すものです。どうぞこれからもその気概を持って、我々現役とともに我が国の平和と独立を守る自衛隊の崇高な使命を果たすべく、ますます精進していきましょう。

予備役ブルーリボンの会のご発展を祈念しております。

平成20年8月2日

航空幕僚長 空将 田母神 俊雄

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187 又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日（日）13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

★平成21年1月18日（日）14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（
救う会徳島主催）

鮮で生存されていることを示す新情報が寄せられた。経過は次のようなものである。

10月中旬、中朝貿易関係者から以下のような情報が調査会にもたらされた。それは「私の通訳を通じて、松本京子さんと思われる女性から伝言を預かった。それは『イナちゃんによろしく』というものだ。イナちゃんという人物が本当に松本京子さんの周辺にいるのか」というものだった。

調査会では、ご家族ならびに関係者の協力のもとに、「イナちゃん」と呼ばれた女性が現存するのかを確認したところ、実際に鳥取県に居住されていることが判明した。調査会がその当該の女性に対して「松本京子さんは、あなたのことを何と呼ばれていましたか」と尋ねると、当該の女性からは「松本京子さんから、イナちゃんと呼ばれてしました。同じ会社で、同期の入社であり、通勤も同じバスを使っていたので、仲が良かった」という回答を得た。

調査会としては、この情報の信憑性について確度の高いものと判断し、松本京子さんのご家族とともに、本日、内閣府拉致対策本部を訪れて、日本政府がこの情報を精査するとともに、松本京子さんの奪還に向けて、力強く行動することを要請した。

対応した河内総合調整室長からは「大変重要な情報である。政府関係省庁に伝達をする。政府としてもこの情報を精査したい」という回答があった。

松本京子さんのご家族は、「この情報を明らかにすることで、京子の立場が悪くなる可能性がある。しかし、表に出さないと何も変わらない。日本政府には具体的な行動を起すように強く期待したい」ということであつた。ゆえに、調査会としても、この情報をもとに、さらに詳細な情報を得るように努力していく所存である。

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8 第6松屋ビル 401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご連絡願いま

す)

MM

MM

[調査会 NEWS 715](20.11.7)

■定例記者会見のお知らせ

報道関係各位

今月の定例記者会見を下記の通り開催します。ご多忙の所恐縮ですが、対応方よろしくお願い申し上げます。

- 1、日時 平成20年11月19日(水) 14:00～
- 2、場所 第6松屋ビル3F (調査会事務所の下 文京区後楽2-3-8)
- 3、内容 1000番台リスト追加他

■調査会役員の参加する講演会等の予定 (公開の拉致問題に関するイベントのみ)

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

●資金カンパのご協力をよろしく申し上げます。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないし FAX にてご
連絡願います)

MM
MM

[調査会 NEWS 714](20.11.6)

■北朝鮮人権週間共同行事、5団体での開催に

すでにお知らせしていますが、本年度北朝鮮人権週間(12月10日～16
日)期間中の12月14日に守る会、難民救援基金基金、法律家の会及
び調査会が共同開催する集会の主催者にさらに RENK(救え!北朝鮮の
民衆 緊急行動ネットワーク 李英和代表)が加わりました。

日時 12月14日(日)午後1時開会予定

場所 明治大学リバティタワー 10階

東京都千代田区神田駿河台1-1

JRお茶の水、地下鉄新御茶ノ水・神保町下車それぞれ5分程度

内容は11日の準備会合で骨子が決まりますので順次報告いたします
が、映画上映、北朝鮮強制収容所体験者・脱北者の証言などを通じ、か
の独裁政権下にてどのような非道な人権弾圧の実態を訴えます。そして、

拉致問題、脱北者問題、帰国者・日本人妻問題、そして政治犯収容所問題のすべての根源は北朝鮮の現体制にあり、その改善のための諸団体の連携を目指します。ご期待ください。

■参考情報

調査会理事・村尾建兒の父で脚本家の村尾昭さんが昨日逝去されました。詳細につきましては代表荒木のブログに記載してあります。

<http://araki.way-nifty.com/araki/>

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日（日）13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

●鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）

●常務理事岡田が参加

●問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

調査会の財政が危機的状況になっております。私たちとしてはこの大きな変化が起きている時期に活動を低下させることだけは避けるべく現在努力しているところです。

そこで一つお願いなのですが、このメールをご覧の経営者の方、あるいは志ある経営者の方をご存知の方がられましたら「しおかぜネットワーク」の一員である「経営者ブルーリボンの会」に加入、あるいはご紹介していただけないでしょうか。内容は下記の通りですが、何らかの形で調査会に（戦略情報研究所を含め）年間 5 万円以上支援をしていただける経営者の方の集まりです。会自体は年会費等はいただいていません。

これまでは「経営者ブルーリボンの会」は一般には会員を募集せず、知人のつてを辿って拡大活動をしていましたが、調査会の活動が忙しくなるとそれもままならず、また昨今の財政事情逼迫もあり、当初方針を変更して今回広く会員を募集することにいたしました。なにとぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同いただける方は下記の連絡先宛ご連絡いただけると幸いです。

（経営者ブルーリボンの会参加呼びかけ文書）-----

経営者ブルーリボンの会へのご参加のお願い

ごあいさつ

経営者ブルーリボンの会 代表 刈屋 隆

北朝鮮による拉致問題は家族会が結成され、救出運動がスタートしてからすでに 11 年が経過していますが未だに解決のめどが立っていません。これは拉致を行った北朝鮮体制の異常さもさることながら、長年放置してきた日本政府の責任も大きいと言わざるをえないのが正直なところで

す。

もちろん国家主権の侵害に対処するのは政府の役目ですが、現状ではその役割の少なくとも何割かを民間が負わなければなりません。特定失踪者問題調査会は政府が認定していない拉致被害者を救出する活動を続けており、また北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」やビラを北朝鮮に送る「バルーンプロジェクト」など本来政府がやるべきことを厳しい財政状況の中続けています。

私と調査会の荒木和博代表、真鍋貞樹副代表らとは私が民社党代議士渡辺朗先生の秘書をしていた時代から 25 年来のお付き合いであり、これまでも個人的に支援はしてきましたが、最近の財政事情を聞くにつけ、何かをしなければならぬと考え、今回この「経営者ブルーリボンの会」を立ち上げた次第です。各位には無理を申し上げますが、ぜひとも本会にご参加いただき、拉致被害者救出を財政面からバックアップして下さいますよう、お願い申し上げます。

経営者ブルーリボンの会の概要

1、 目的

特定失踪者問題調査会の活動を資金面から支援し、もって拉致問題の解決に寄与します。

2、 対象者

次のどれかに該当する経営者ないしそれに準ずる人を対象とします。

(1)調査会に対し年間 5 万円以上の寄付をした、ないしする予定がある

(2)戦略情報研究所に対し会費ないし広告費等で年間 5 万円以上の費用を支出した、ないしする予定がある

(3)調査会グッズを年間5万円以上購入した、ないしする予定がある

(4)上記(1)～(3)に準ずる形で調査会に対し年間5万円以上の援助をした、ないしする予定がある

※戦略情報研究所(株)は調査会代表荒木和博が代表取締役となり平成16年に設立された法人です。所在地は特定失踪者問題調査会と同じであり、調査会への資金等の支援を当面の目的に、国家の長期的ビジョン作りを長期的目的にしています。

3、 役員・所在地

会長：刈屋隆 ((株)新清 代表取締役)

事務局長：荒木和博 (戦略情報研究所(株)代表取締役)

事務局連絡先：特定失踪者問題調査会と同じ

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-8-401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059 email kumoha551@mac.com
(荒木)

※荒木は受け取る側の当事者ではありますが、特定失踪者問題調査会及び戦略情報研究所からは一切報酬を受け取っておらず、事務所経費の個人負担等で2-(4)に該当します。

4、 活動

(1)情報の提供 (調査会の郵送ニュース及びメールニュースの配信)

(2)会員相互の交流等の実施

(3)その他

5、 その他

(1)年会費は徴収しません。ただし交流会等の費用は各自負担となります。

(2)「経営者ブルーリボンの会」は「しおかぜネットワーク」に参加しています。同組織は拉致被害者救出のためのゆるやかなネットワークで、

現在約60の組織が加入しています。「しおかぜネットワーク」は中心的役割を特定失踪者問題調査会が果たしていますが、上下関係、指揮命令系統はなく、おもに情報の共有を目的としています。その活動の内容も逐次会員の皆様にお知らせします。

■参考情報（戦略情報研究所講演会）

戦略情報研究所では以下の通り講演会を開催致します。戦略情報研究所の講演会としては初めて、経済戦略に関するお話しです。参加出来ない方もインターネットでの生中継を行う予定です。ぜひご覧ください。

1、日程：11月7日(金)18:30～20:30

冒頭約1時間の講演を(株)NetLiveのご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所：UIゼンセン会館 2階会議室（千代田区九段南 4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い（地図は下記をご覧ください）。
<http://www.uizensen.or.jp/about/index.html>

3、講師：鈴木壮治氏（一橋総合研究所統括責任者）

4、テーマ：米国発金融破綻と「サムライ資本主義」

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み

事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、講師略歴

一橋大学卒業後、三井物産に入社、化学プラントの輸出入およびプロ

プロジェクトファイナンス関連業務を担当。米国ペンシルヴァニア大学経営大学院・ウォートンスクール MBA 取得。その後、シティバンク、チェースマンハッタン銀行 VP としてコモディティ・デリバティブ、ヘッジファンドなどを担当。1999 年から 2000 年にかけて東京都参与を兼任し、中小企業の金融支援のために、CLO 市場創設に貢献。現在特定非営利活動法人・一橋総合研究所の統括責任者として、国際金融、外交・安全保障などの分野での提言を続け、BS イレブンの「闊論・FACA」のモデレーターも務めている。主な著書に『宣戦布告「NO」と言える日本経済』『「アメリカ信仰」を捨てよ』（以上、石原慎太郎都知事と共著/光文社）、『日本国独立宣言』（濤川栄太氏・西村眞悟代議士と共著/ ヒューマンアソシエイツ）など。最新の著書は講演のテーマと同じ『サムライ資本主義 「武士道」が「資本と力の論理」を超える』（立川隼人氏との共著/PHP)

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂 3-1 浦和駅西口徒歩 8 分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日（日）14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（同会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR 藤沢駅北口より徒歩 5 分・藤沢郵便局隣り）

●常務理事杉野が参加

●問い合わせ：090（9816）2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日（日）13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・シンポジウム（拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催）

- 鳥取県民ふれあい会館（鳥取駅から徒歩3分）
- 常務理事岡田が参加
- 問い合わせ 0857-82-3645（伊吹さん）

★平成21年1月18日(日) 14:00 北朝鮮による人権侵害について考える県民集会（救う会徳島主催）

- 阿南市文化会館夢ホール（阿南市富岡町西池田135-1）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ 090-5141-1995（救う会徳島事務局）

MM
MM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博（送信を希望されない方、宛先の変更はkumoha351@nifty.com宛メールをお送り下さい）

- 資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

（銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います）

MM
MM

[調査会 NEWS 712](20.11.1)

■ 2008年北朝鮮人権週間、4団体共同の集会在決定

去る10月29日に調査会事務所にて行われた関係団体の会議において本年度北朝鮮人権週間（12月10日～16日）期間中に、守る会、難民救援基金、法律家の会及び調査会の四団体が共同開催する集会を行うことが決定しました。

日時 12月14日（日）午後1時開会予定

場所 明治大学リバティタワー 10階 1103教室

東京都千代田区神田駿河台1-1

JRお茶の水、地下鉄新御茶ノ水・神保町下車それぞれ5分程度

内容は順次報告いたしますが、映画上映、北朝鮮強制収容所体験者・脱北者の証言などを通じ、かの独裁政権下にてどのような非道な人権弾圧の実態を訴えます。そして、拉致問題、脱北者問題、帰国者・日本人妻問題、そして政治犯収容所問題のすべての根源は北朝鮮の現体制にあり、その改善のための諸団体の連携を目指します。

調査会単独の集会は本年は行いません。ぜひとも多くの方々のご参加と、報道関係各位のご協力をお願いいたします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★11月22日（土） 14:00 拉致問題を考える埼玉県民の集い（救う会埼玉主催）

●さいたま市・埼玉会館（浦和区高砂3-1 浦和駅西口徒歩8分）

●代表荒木が参加

●問合せ 090-8815-4986（竹本代表代行）

★12月7日(日)14:00 「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」
 (同会実行委員会主催)
 ●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)
 ●常務理事杉野が参加
 ●問い合わせ:090(9816)2187又は
 sukukaikanagawa@hotmail.com

★12月21日(日)13:30 拉致被害者に心を寄せるコンサート・
 シンポジウム(拉致被害者に心を寄せるシンポジウム実行委員会主催)
 ●鳥取県民ふれあい会館(鳥取駅から徒歩3分)
 ●常務理事岡田が参加
 ●問い合わせ 0857-82-3645(伊吹さん)

MM
 MMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は
 kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)